

もっと身近に！



三豊市
MITOYO

2026年
8月号
No.65

議会だより



6月定例会

📷 四国学院大学香川西高等学校の皆さん

- ②議会報告会
- ④定例会概要・小学生の議場見学
- ⑤定例会審議結果
- ⑥高校生の傍聴
- ⑧一般質問
- ⑩委員会審査・議会日誌
- ⑪政治倫理委員会・新議場システム・視察受入
- ⑫スポーツ少年団紹介

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

スポーツ少年団紹介

大野ハリケーン (ソフトボール)

大野ハリケーンは、山本小学校運動場を拠点に活動するソフトボールスポーツ少年団です。小学校3年生から6年生の男子・女子が所属する合同チームとして、元気一杯練習に励んでいます。チームのモットーは「全力プレー」「感謝の心」「相手の気持ちを考える」「自分で考えて行動する」です。

体験・見学はいつでも大歓迎です！お気軽にお越し下さい。

活動場所：山本小学校 運動場
活動日時：水／19時～20時30分頃
土／13時～17時頃
日・祝日／8時30分～正午頃
問合せ先：090-2780-0462（宮武）



スピリッツ (ソフトボール)

スピリッツは、山本町を拠点に活動するソフトボールチームです。近隣の小学校から集まった仲間たちが、学年や学校の垣根を越えて楽しく練習に励んでいます。あいさつや礼儀を大切にしながら、仲間と協力する力と挑戦する心を育み、試合では全力プレーで勝利を目指しています。

女の子も活躍中！見学・体験大歓迎！いつでもお気軽にお越しください。

活動場所：火・金／山本ふれあい公園
日／山本町河川敷運動公園
活動日時：火・金／19時～21時
日／8時30分～正午
問合せ先：090-6288-4553（岡崎）



編集後記

6月定例会に四国学院大学香川西高等学校の生徒代表の皆さんが、傍聴に来て、熱心に一般質問に耳を傾けていただきました。

5月には議会報告会を7か所（2か所はオンライン同時配信）で、実施いたしました。153人の市民の皆様に参加、89件に及ぶご意見、ご質問を寄せていただき改めて皆様の声、想いをより身近に感じる機会となりました。今後とも、市民の声を聴く力を発揮し、「開かれた議会」を目指してまいります。議会だよりも、身近で、より関心をもって手に取ってもらえるよう努めてまいります。

（水本）

広報広聴常任委員会		
委員長	田中 達也	
副委員長	瀧本 哲史	
委員	浜口 恭行	
	水本真奈美	
	井出喜久美	
	青井 和樹	
	香川 貴志	
	眞鍋 範子	
	大平 国明	



QRコードを読み取ると、
市議会のホームページが
ご覧になれます

※QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です



環境に優しい植物油インクを使用しています。

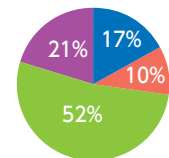
発行・編集
三豊市議会・広報広聴常任委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間 2373 番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

参加者153人のうち
117人に回答をいた
だきました。

アンケート集計結果

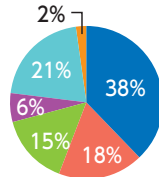
ご参加
ありがとう
ございました

報告会をどのようにして知りましたか？



●案内文書
●市議会ホームページ
●議会だより
●その他

議会報告会の参加は何回目ですか？



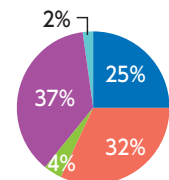
●はじめて
●2回目
●3回目
●4回目
●5回目以上
●無回答

令和8年度議会報告会 参加人数

会場 144人 オンライン 9人

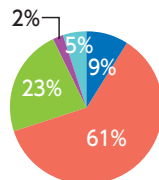
内 訳	会場		オンライン	
	開催場所	人 数	開催場所	人 数
	高瀬会場	10	豊中会場	10
	高瀬オンライン	4	豊中オンライン	5
	山本会場	9	詫間会場	23
	三野会場	13	仁尾会場	47
			財田会場	32

報告会に参加した理由は何ですか？



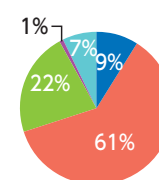
●議員・議会に興味があった
●市の施策に興味があった
●議会に自分の意見を伝えたい
●議員や知人から案内があった
●その他

内容はどうでしたか？



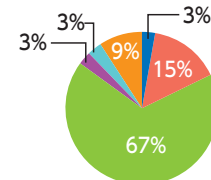
●大変わかりやすい
●わかりやすい
●わかりにくい
●全くわかりにくい
●無回答

資料等ははどうでしたか？



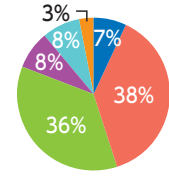
●大変わかりやすい
●わかりやすい
●わかりにくい
●全くわかりにくい
●無回答

報告会の時間は？



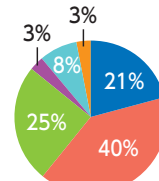
●長すぎる
●やや長い
●ちょうどいい
●やや短い
●短すぎる
●無回答

あなたの意見や市民の声が市政に
反映されていると思いますか？



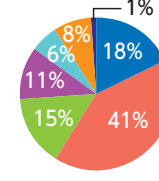
●思う
●やや思う
●あまり思わない
●思わない
●わからない
●無回答

「開かれた議会」だと思いますか？



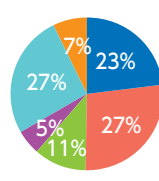
●思う
●やや思う
●あまり思わない
●思わない
●わからない
●無回答

「開かれた議会」を目指して
何に取り組むべきだと思いますか？



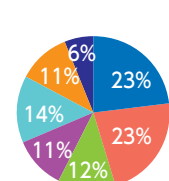
●議会報告会
●市民との意見交換会
●議会だよりの充実
●議会ホームページの充実
●委員会のインターネット中継
●SNSでの情報発信
●その他

報告会の会場で、意見や質問をその場で
発言することについてどう感じますか？



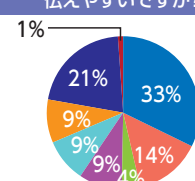
●問題なく発言できる
●少し発言しづらいと感じる
●かなり発言しづらいと感じる
●発言したいが、ほとんどできない
●発言するつもりはない(聞きに来ている)
●無回答

会場で発言しづらい理由は何ですか？



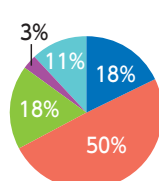
●人前で話すことが緊張する
●発言のタイミングが難しい
●時間が限られている
●自分の意見に自信がない
●周囲の目が気になる
●内容がまとまらない
●その他

どのような方法であれば意見を
伝えやすいですか？



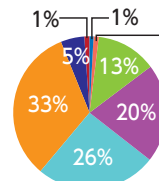
●少人数のグループでの意見交換
●メッセージ機能を活用したリアルタイム投稿
●ふせんで掲示板に貼る形式
●投票形式(選択式で意見を示せる)
●個別相談・面談
●司会者が代読してくれる
●特に配慮は不要
●その他

報告会全体としての満足度は？



●満足
●やや満足
●やや不満
●不満
●無回答

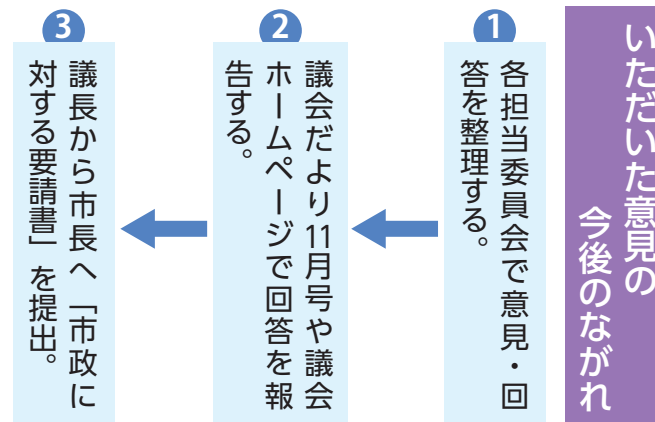
参加者の年齢層について



●20歳代
●30歳代
●40歳代
●50歳代
●60歳代
●70歳代
●80歳以上
●無回答

もつと！ あなたの近くに 議会 報告会

初の会場とオンラインのハイブリッド開催



議会報告会の様子は、議会ホームページ
およびYouTube「三豊市議会」チャンネルで
視聴できます。
ぜひご覧ください。

YouTubeは
こちらから



議会の活動を市民の皆様へ直接お伝えし、ご意見をいただく場として毎年開催している「議会報告会」。今年は市内7町の会場で、より多くの方に参加していただけるよう、平日の夜と土曜日に実施しました。7町全ての会場で開催するのは、令和元年以来7年ぶりです。さらに新たな試みとして、対面形式に加えオンライン（Zoom）での同時配信を、高瀬町と豊中町の会場で実施しました。会場・オンラインを合わせて、多くの市民の皆様にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。ご参加いただいた皆様からのアンケートの結果は3ページをご覧ください。

令和8年第2回（6月）定例会 審議結果

議場にいた全員が賛成した議案

議案名等	
専決処分の承認を求めることについて （三豊市税条例の一部改正）	令和8年度三豊市病院事業会計補正予算（第1号）
専決処分の承認を求めることについて （三豊市国民健康保険税条例の一部改正）	令和8年度三豊市集落排水事業 会計補正予算（第1号）
専決処分の承認を求めることについて （損害賠償の額を定めること）	三豊市介護保険条例の一部改正について
令和8年度三豊市一般会計補正予算（第1号）	財産の取得について（中学校生徒学習者用端末）
令和8年度三豊市国民健康保険事業 特別会計補正予算（第1号）	三豊市教育委員会委員の任命について （安藤 紳一）
令和8年度三豊市国民健康保険診療所事業 特別会計補正予算（第1号）	特別委員会の設置について
令和8年度三豊市介護保険事業 特別会計補正予算（第1号）	三豊市議会政治倫理基準の遵守に関する決議
令和8年度三豊市介護サービス事業 特別会計補正予算（第1号）	議案第55号 令和8年度三豊市一般会計補正予算 （第1号）に対する附帯決議

賛否が分かれた議案

議案名等	議員名																				議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	篠原 一馬	大平 国明	眞鍋 範子	香川 貴志	伊藤 幸洋	青井 和樹	丸戸 研二	高木 修	井出 喜久美	近藤 武	瀧本 哲史	湯口 新	水本 真奈美	込山 文吉	浜口 恭行	詫間 政司	田中 達也	石井 勢三	市川 洋介	城中 利文	
決議案第1号 高木修議員に対する問責決議	○	○	○	○	○	●	○	除	○	○	○	○	○	○	●	●	○	-	○	○	原案可決 （賛15、反3）
決議案第2号 高木修議員に対する問責決議	○	○	○	○	○	●	○	除	○	○	○	○	○	○	●	●	○	-	○	○	原案可決 （賛15、反3）

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長 18番 石井勢三）

令和8年度三豊市一般会計補正予算（第1号）に対する附帯決議

自動運転社会実装推進事業は、地域公共交通の維持確保に向けた先進的な取組である一方、車両購入を含む大規模事業であり、将来の財政負担や事業効果については、慎重な検証が必要である。
よって、本事業の執行に当たり、次の事項に十分留意するよう、強く要望し決議する。

記

1. 実証運行及びレベル4認可取得に向けた進捗状況、課題及び検証結果について、議会へ適時報告し、市民への情報提供にも努めること。
2. 車両の維持管理費、更新費及び運行に係る中長期的経費について試算し、その結果を議会へ報告すること。
3. 利用実績、費用対効果、交通流への影響等について検証を行い、その結果を公表すること。
4. 地域公共交通全体（コミュニティバス、デマンド交通等）との役割分担を踏まえ、最適な交通体系の構築に努めること。

令和8年6月30日

三豊市議会

令和8年 第2回
定例会の概要

会期 6月8日～6月30日（23日間）

今定例会では 次のことが決まりました	専決処分の承認 3件承認	令和8年度補正予算 7件可決	条例に関する議案 1件可決	その他の市長提出議案 1件可決	人事案件 1件同意	議員提出議案 1件可決	決議案 4件可決
-----------------------	-----------------	-------------------	------------------	--------------------	--------------	----------------	-------------

補正 令和8年度6月補正予算 可決

一般会計	9億4,627万2千円 増
国民健康保険事業特別会計	378億9,627万2千円
※歳入歳出予算の総額は変更なし	
国民健康保険診療所事業特別会計	66億7,300万円
介護保険事業特別会計	67万円 増
介護サービス事業特別会計	1億4,467万円 増
病院事業会計	29万7千円 増
集落排水事業会計	79億829万7千円
	131万7千円 減
	8,168万3千円
	783万4千円 増
	30億7,770万円
	299万4千円 増
	2億2,634万2千円

議員提出議案

可決

特別委員会の設置について

【決算・事務事業評価特別委員会】

所管事項 決算審査の在り方及び事務事業

期間 令和8年6月30日から調査終了まで、

閉会中も調査することができると。

委員長 市川洋介

副委員長 城中利文

委員 田中達也

委員 込山文吉

委員 瀧本哲史

委員 青井和樹

委員 眞鍋範子

詫間政司

水本真奈美

井出喜久美

伊藤幸洋

大平国明

浜口恭行

湯口新

丸戸研二

香川貴志

篠原一馬

人事案件

（敬称略）同意

三豊市教育委員会委員の任命

安藤 紳一（高瀬町）

永年勤続表彰

四国市議会議長会

●特別表彰

16年以上議員表彰

12年以上議員表彰

●一般表彰

8年以上議員表彰

●特別表彰

25年以上議員表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

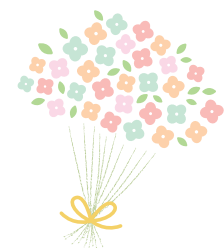
●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰

●特別表彰



7月1日（水）財田小学校3年生が見学に来てくれました



傍聴者席に座り、職員の説明を聞いた後、議会に関するクイズをしました。児童からも「いつ会議をしているんですか。」「会議は何時から始まりますか。」など、たくさん質問がありました。

小学生の議場見学

市内高校生が議会を傍聴 vol.5

「開かれた議会」実現の取り組みの一環として、また、市政や議会に関心を持ち、地域課題の発見・解決に取り組む力を養う「主権者教育」として、学生の傍聴を実施しています。地域の未来について考え、調べ、話し合う大人達の姿が、次世代を担う皆さんの将来の参考になれば幸いです。

6月定例会では、**四国学院大学香川西高等学校生徒34人**が一般質問の傍聴に訪れました。

傍聴をしての感想をご紹介します。



2年1組
やぎ さと
八木 咲都さん

初めて市議会を傍聴し、三豊市を良くするために交わされる熱い議論に深く感動しました。議員ではなくても、私たち市民にできることはたくさんあります。三豊市の一員として、自分にできることから街づくりに貢献していきたいです。



2年1組
まつおか あきほ
松岡 亮歩さん

今回、市議会を傍聴したことで、私たちが何気なく過ごしている日常の裏では、数多くの議員の方々が「三豊市」をより良くするために議論を重ねてくださっているのだと気づかされました。この当たり前のような日々の生活が、そうした真摯な議論に支えられていることを忘れず、これからは一市民として感謝の気持ちを持ちながら過ごしていきたいと思います。



1年1組
はまだ そうじゅ
濱田 宗樹さん

議会に対しては、当初「厳かで重苦しい空気」という先入観を抱いていましたが、実際の議員の皆様は明るく活気があり、良い意味でイメージを覆されました。今回審議されていた「ラーケーション」の導入案は、非常に有意義なものだと共感いたしました。私自身、寮生活をしており、日々の部活動や学業の忙しさから、普段は保護者と十分にコミュニケーションを図るのが難しい状況にあります。そのため、平日に家族と向き合える時間を確保できるこの制度は、大変魅力的であると実感しました。



1年1組
おおくぼ つばき
大久保 椿姫さん

全員が納得いくまで質問を重ね、徹底的に話し合う姿から、議会の持つ慎重さと責任の重大さを肌で感じました。また、一つの物事を決定するには多角的な視点が必要であり、それによって街が大きく変わっていくのだと実感しました。その一方で、扱われている議題は想像以上に身近なものが多く、とても理解しやすかったです。

スマホ・パソコンから

議会中継を視聴できます

市議会ホームページトップ



市議会ホームページからも、会議の様子を見ていただけます。



三豊市議会 検索

映像配信ページ



生中継ページ





大平国明
議員



防災対策について

問 各団体への啓発や三豊市として防災についての方針を伺う。

答 三豊市地域防災計画に基づき、避難所の整備、自主防災組織や防災士の育成、住宅耐震化を推進してきた。食糧・物資の確保計画の充実を図り、総合防災マップ改訂を進め、各団体の訓練や講習を通じて、地域防災力の向上を図っていく。

問 豊中町防災センター設置計画について進捗状況を伺う。

答 候補地の検討を進めているため完成時期を具体的にお示しできる段階になく、早期整備に向けて取り組んでいく。

問 総合防災マップ、避難所運用について伺う。

答 閉校した学校についても指定避難所であるため、総合防災マップに掲載する予定である。食料や生活物資が不足する場合、避難所の運営組織から市災害対策本部へ依頼し、調達を行う。保健師

などによる健康管理などを実施し、避難所環境の改善に努める。保護方法の課題もあるが、ペットとの同行避難も対応する方向。避難所スペースに限りがあることから、自宅の安全が確保できる場合は在宅避難も有効な選択肢の一つである。自宅で避難される方に対する食糧なども備蓄している。

今後、市民の生命・身体・財産を守ることを最優先に、防災減災対策の充実に取り組んでいく。



▲非常用持ち出し品一例

その他の質問

○新設豊中小学校（通学路の整備・保護者の送迎・旧小学校跡地）について

いては、暑さ対策に関する注意喚起や情報提供に努めていく。



込山文吉
議員



高齢者・要介護独居世帯の粗大ごみ搬出支援について

問 家庭ごみの戸別収集制度を発展させ、粗大ごみの戸別収集や、搬出支援制度を検討する考えを聞く。

答 「高齢者ごみ出し等支援事業」収集事業者等との役割分担、指定場所へ持ち込んでいる方と戸別回収利用者との費用負担のバランスをどう設定するかという課題がある。課題を解消するとともに、どの程度の需要があるのかなどを把握するため、まずはモデル的に既存の「高齢者ごみ出し等支援事業」の中で実証していくための調査と制度設計を図りたい。

新設小学校周辺の通学路安全対策と見守り体制の強化について

問 持続可能な見守り体制づくりに見守り隊・交通指導員への支援体制（熱中症対策）について考えを聞く。

答 子ども地域安全見守り隊は小・学校ごとに委嘱されたボランティア隊員により通学時の児童の安全を守るため通学路での交通立哨を行っている。熱中症対策につ

北部地区学校給食体制と中学校給食無償化について



▲子ども安全パトロール隊員の熱中症予防対策が求められる

問 北部給食センター機能の再編・集約による効率化も含め、将来的な中学校給食無償化に向け検討を進める考えを聞く。

答 中学校給食費の無償化は、恒体制の再編集約化等により維持管理費の縮減が実現できたとしても、直ちに実施することは容易ではないと考えている。国の中学校給食費の無償化に関する施策の動向などを注視し、北部地区の学校給食体制の最適化と将来の給食費の負担軽減のあり方について、検討を進めたい。

その他の質問

○公共施設の維持管理の考え方について



高木 修
議員



小規模農地ほ場整備

問 国の新たな制度が創設されたと聞くが、三豊市としての取り組みは。

答 今年度から、小規模な農地の区画拡大を支援する新たな制度「大区画化等加速化支援事業」が創設された。これは、農業者が自ら行う、簡易な工事を支援するものである。

居宅介護支援事業

問 三豊市社会福祉協議会は令和7年、居宅介護支援事業所を廃止した。要介護者を抱える市民は、どこへ相談に行けばいいのか、困惑している。改善策は。

答 事業終了に際しては、利用者の引継ぎや関係事業所との情報共有を行った。

問 廃止に至るまで、市と社協との間で十分な協議が行われたのか。

答 市としては、社協の財政収支改善策に基づき決定を尊重した。

問 市と社協が一体的に動く体制構築が重要だと思つが。



篠原一馬
議員



二ノ宮幼稚園の今後の在り方について

問 現在、二ノ宮幼稚園は園児2名が勝間幼稚園へ通園しており、実質的に施設利用は行われていない。維持管理費について、市としてどのように考えているのか。

答 今年度の維持管理費は約100万円を計上した。園児の受け入れを行わないことから、前年度より約145万円減少している。消防設備や遊具等の点検、警備など、施設の安全確保に必要な経費である。

問 今後、施設をどのように活用していく考えか。

答 本年度は既に幼稚園間の交流活動を1回実施しており、引き続き幼稚園施設として活用する。また、必要に応じて地域の交流事業にも活用する予定である。今後は教育環境を第一に考え、地域の状況を踏まえ、公共施設等総合管理計画との整合を図りながら、施設の利活用や再編を含めて検討していく方針である。

答 居宅介護支援事業所の終了後は、ケアマネジャー不足が課題となる中、地域の介護サービス提供体制に関わる重要な事項であり、市としても重く受け止めている。



▲三豊市社会福祉協議会 高瀬支所

認知症対策オレンジかふえの内容充実

問 オレンジかふえが運営される中で、参加者の移動手段の確保が課題となるが、対策は。

答 タクシー送迎を始めた、とよなか荘での取り組みや先進自治体の事例を調査研究し、より参加しやすい環境づくりに努める。

学校給食について

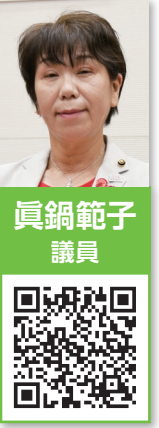
問 地産地消の推進状況と課題、地域の農業や食文化への理解を深める食育の取り組みについて伺う。

答 本市の地産地消費率は13%で、県平均5.6%を上回っている。市内生産者の協力により地場産物を活用しているが、生産者の減少や高齢化、資材・燃料費の高騰が課題である。食育では、収穫体験や生産者との交流、郷土料理や交流給食などを通じ、理解を深めている。

問 物価高騰の影響と、学校給食の質をどのように維持しているのか。

	高松	東かがわ	さぬき	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	三豊
小学生 1食当たり単価	1・2年生 298円 3・4年生 340円 5・6年生 298円	335円	300円	非公開	310円	310円	290円	300円
中学生 1食当たり単価	404円	413円	350円	非公開	375円	355円	320円	340円
中学生 給食費 保護者負担額	4月～7月 無償 9月～ 304円	290円	無償	無償	無償	無償	300円	285円

▲近隣市の給食単価・学校給食費比較表



香川県の日について

問 12月3日の香川県の日を、市民や子どもたちが郷土への愛着や誇りを深める機会として、どのように活用していくのかを問う。

答 関連イベントや市内施設の無料開放等を検討している。学校給食では郷土料理や地域食材を活用し、ふるさと香川や三豊市への理解と愛着を深める取り組みを進める。

子育て・子育て支援について

問 子どもや若者の声をどのように把握し施策へ反映するのか。また、前回提案した地域の支援者と子育て家庭がつながる仕組みづくりを含め、地域ぐるみの子育て・子育て支援体制の進捗を問う。



行政改革と一体となった三豊市交通政策の再構築について

問 単独の交通政策にとどまらず「市役所全体の事業構造改革」と一体的に取り組む視点で、地域交通の再構築を検討すべきではないか。1点目は「直営事業の見直しによる財源創出」、2点目は「コミュニティバス中心施策からの転換」について聞く。

答 1点目は、民間事業者の高い専門性や創意工夫、経営ノウハウの導入や、急激な進化を遂げている生成AIなどを積極的に有効活用することで、市民サービスの質を維持・向上させながら、行政の財政負担の軽減や適正な人員配置による事務改善を進めていく。2点目は、今年度より、「バス以上タクシー未満」の移動手段として既存のコミュニティバス路線のうち、まずは一部のエリアのデマンド交通サービスへの移行を計画している。

答 子どもや若者が意見を表明しやすい環境づくりに努め、その声を保健・福祉・教育の関係部署が連携して施策へ反映する。また、地域の支援者との関係づくりは重要と認識しており、子育て家庭と地域とのつながりを深める方策について具体化に向けた検討を進め、「こどもまんなかのまちづくり」の推進に努める。

預かり事業について

問 こども誰でも通園制度の現状と周知方法、また放課後児童クラブや児童館等の地域資源を活用した預かり支援体制について問う。

答 こども誰でも通園制度は子どもへの育ちを支える事業として実施しており、一時預かり制度との違いがわかる情報発信に努める。地域資源の連携を図り、利用しやすい環境づくりを研究する。

問 子どもの声を施策に生かし、誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援が重要である。子育て家庭が必要な支援を選ぶことができ、子どもたちが地域に見守られながら安心して子育てできる三豊市となることを期待する。

市職員カスタマーハラスメント対策基本方針等の策定について

問 職員が安心して業務に専念できる環境を整備することは、単なる職員保護にとどまらず、市民サービスの質の安定化や向上にも直結するものである。本市においても具体的な策定スケジュールや内容を早期に明確化することが、職員の安心感向上と市民サービスの安定に直結すると思われる。

答 実効性を重視したカスタマーハラスメント対策マニュアルの策定を検討しており、基本的な知識の習得に加え、初期対応のあり方、事実関係の適切な把握、類型ごとの対応事例など、実践的な内容を盛り込むことを検討している。



職員間のハラスメントについて

問 パワーハラスメント調査認定についての第三者委員会創設に向けての経費が令和8年度予算に計上された。具体的な進捗状況を問う。

答 「職員のハラスメントの防止等に関する規則」をはじめとする関係規程や運用指針等の整備を進めるとともに、付議案件の範囲、調査手法、庁内組織との役割分担など、実際の運用に必要な事項について整理を行っている。また、委員構成や外部専門家との連携体制、委員会運営の在り方などについて具体的な検討を進めている。出来る限り早期の運用開始に向け取り組む。

問 昔の当たり前が今のハラスメントになっているという社会の大きな変化に伴う価値観のギャップこそが、無自覚なハラスメントを誘発している。本人に認識がなくても相手を傷つけているケースを防ぐためには、一般論の座学研修では効果がない。管理職



縮小する地域社会への対応について

問 本市においても人口減少、若者流出、買い物難民、空き家や所有者不明土地の増加、地域コミュニティの衰退、農業・漁業の後継者不足など、縮小する地域社会では地域の維持そのものが課題となっている。

答 詫間町では地場スーパーの完全子会社化に伴う買い物難民が増え、5年、10年先を見据えた、本市の「縮小社会」への考えや対応策を聞きたい。

問 ご指摘の通り、本市においても地域の維持が極めて厳しい局面にあることを重く受け止めている。今後は、定住人口の獲得だけに固執せず、本市と多様に関わる関係人口を拡大し、新たな人の流れと多様な才能を呼び込むことで、地域の活力を維持向上させていきたい。



を含む上の世代に対して、今現在のアップデートされた人権意識を、自分ごととして気づかせるような具体的な事例に基づいた討論型の研修や、最新のハラスメント事例を学ぶ研修へと変えていくべきではないか。

答 職員研修の企画・実施に当たっては、議員提案内容も参考にしながら、社会情勢や最新の事例を踏まえた、より実践的で効果的な内容となるよう内容の充実に努め、組織全体の意識改革とハラスメントの未然防止に取り組んでいく。

その他の質問

○オーガニックビレッジ宣言後の有機農業振興策について
○学校および保育所給食について



▲閉店した地場スーパー跡地（詫間町）

問 詫間町では地場スーパーの閉店により、多くの買い物難民が発生した。買い物は市民や高齢者の外出の機会、健康維持、地域コミュニティの接点でもあるが、将来的に買い物難民が発生する地域の把握、買い物難民を生まない地域生活圏の維持をどのように考えているのか。

答 将来的に買い物難民が発生する恐れのある地域や地区の把握については、高齢化の進展や地場店舗の動向など、様々な要因が複雑に絡み合っていることから、関係部局で情報共有を密にし、その対策を検討していきたい。

その他の質問

○ふるさと住民登録制度と関係人口施策について

AIは質問者が本人が書いています
原稿は質問者本人が書いています
AIは質問者がAIで生成した画像です



自然と共生した農業の振興

問 自然と共生し、農業者のプライドが活かされた農業振興に取り組みが必要ではないか。

答 地域の自然環境が守られ、その上で、農業者の意欲や創意工夫が活かされる農業振興を進めなければならないと考えている。

問 中山間地域において、特別栽培による一等米生産によって農業振興を図る施策に取り組みな

答 今年度において、安心・安全で高品質な米づくりを支える体制や情報発信、ふるさと納税の返礼品も含めた販路の拡大など、関係者と連携しながら具体的な施策立案に向けた検討を始める。

過疎対策事業への取り組み

問 詫間、仁尾、財田の過疎指定を受けている3地域において、もうこれ以上過疎を進ませない対策への取り組みが必要でないか。

答 市一律の網羅的な計画だけでなく、対応することには限界がある。各地区の現状・課題・ビジョンを示す「集落カルテ」を作成し、各地区の個性を活かした個別計画を

策定することで地域に根差した具体的な対策・事業を整え、持続可能なまちづくりを進める。

西讃広域農道の舗装等の改修

問 改修計画の概要を示せ。

答 補助事業として採択されれば、最短で令和9年度に実施設計、令和10年度の工事着手を見込んでいる。

問 早急な改修が必要な箇所への対応、市道大野地森線との交差点の安全対策を示せ。

答 国道32号から県道観音寺池田線に至る区間は老朽化が進んでいることから優先整備区間として位置づけている。大きな振動音の発生箇所への対策及び市道大野地森線との交差点の安全対策は、関係機関と協議しながら実施設計段階で検討する。



▲老朽化が進んでいる西讃広域農道



市職員の職場環境について

問 職員の疲弊を防ぐため、現状認識と対策を問う。

①特定部署への業務集中の是正と会計年度任用職員との適切な役割分担。

②匿名性の高い職場環境アンケート等による意見聴取の実施。

③予算の残高を気にして職員が残業申請を躊躇しない環境づくり。

答 ①毎年実施しているヒアリングに基づき人員配置を行っており、DX推進と合わせて業務の最適化・負担軽減を図る。基幹業務は原則正規職員が担い、会計年度任用職員と適切に分担する。

②自己申告制度等で意見を把握しているが、匿名アンケートの手法も含め、率直に意見を発信できる環境づくりを継続研究する。

③時間外手当は予算残高を理由に支給を抑制するものではなく、実績に基づいて適正に支給されるべきもの。管理職への周知を徹底し、正しく申請できる職場環境に努める。



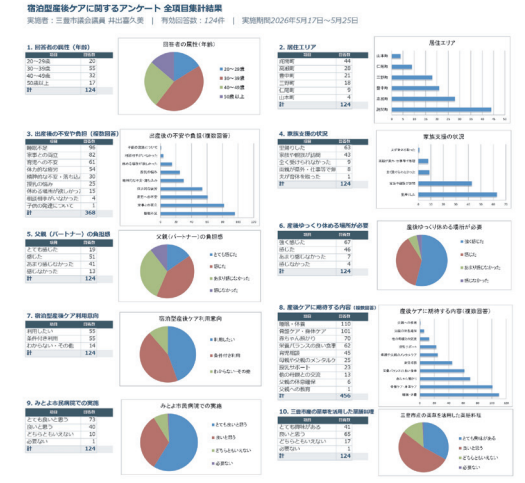
コーサイ公園の噴水広場の復活について

問 子どもたちが安全に水と触れ合える場として、夏季限定や時間限定など段階的な運用再開に向けた見通しについて問う。

答 噴水ノズルに砂を詰めるなどのいたずらで噴水設備が故障したほか漏水が続きやむなく噴水の稼働を停止した。たくまポートメモリアルパークについては市内公園の中でも施設面での充実が図られており、今後とも重要な役割を果たしていく公園であると考えている。現状の設備ではなく新しい形の集まれる利用しやすい公園を目指していきたいと考える。

みとよ市民病院における宿泊型産後ケア事業の導入について

問 令和6年4月から「こども家庭センター」が設置され、妊娠前から子育て期までの、切れ目のない支援体制が構築されている。その中には、産後ケア事業も、取り入れては有るものの、利用できる施設は市内には存在しない。出産経験のある女性を対象に市民アンケー



▲産後ケアに関する市民アンケート



豪雨対策および河川整備について

問 近年、全国各地で毎年のように大規模な水害が発生している。三豊には、財田川や高瀬川に流入する支流がある。支流付近の住民の方からの不安をよく耳にし、

支流の整備が進んでいないように感じる。また、山間部にはたくさんため池があり、豪雨までいかずとも決壊のおそれから放流をする。その際、用水から支流に、支流から2級河川へと滞ることなく流れるよう、護岸や川底に草や木が生えているような箇所の把握や、近年のゲリラ豪雨、毎年更新される雨量にも耐える環境整備・豪雨対策について質問する。

答 近年、全国各地で豪雨災害が頻発し、その被害も激甚化している。市民の生命財産を守るため、河川整備や適切な維持管理による治水対策は重要課題である。高瀬川及び財田川には、その流域において県管理河川や市管理河川など多くの支流が接続している。県管理河川は、香川県が、河道拡幅等の改修を実施。

学校現場における
※ 吃音の研修と支援について

問 他自治体での吃音を巡るいじめ・損害賠償案を教訓に、教職員への吃音に関する研修の実施、学校現場での合理的配慮の浸透、および外部専門機関との連携強化を求める。

答 教頭会での啓発リーフレットの配布や、一部学校での外部専門家を招いた校内研修を実施したほか、乳幼児健診に従事する保健師への研修会も開催した。吃音に限らず、特定の担当教員だけでなく全ての教職員が正しく理解を深められるよう、学校全体での取り組みを進め、医療・福祉等の関係機関との連携体制づくりにも努める。

その他の質問
○家庭用防犯設備への補助金制度について
○中途退職、メンタルヘルス休職者について

※吃音（きつおん）…言いたい言葉がなめらかに出てこない発話障害（流暢性の障害）

要望や職員による巡視で河川の状況把握をし、河道に支障となる樹木の繁茂や土砂の堆積等、現在確認を行った上で、必要な箇所を予算化し、樹木伐採や※しゅんせつ等を実施。緊急性の高い小規模な案件は、契約業者へ依頼、速やかに対応。財源も、有利な起債である「緊急しゅんせつ推進事業債」「河川改修事業債」など活用し、河川の適正管理の推進に努める。河川巡守や地元からの情報提供等による状況把握、河川の断面を最大限に活用し、必要な維持管理や河川改修を計画的に実施する。香川県関係機関や流域の地域住民と連携し、流域全体を見据えた治水対策に取り組む。

※しゅんせつ（浚渫）…河川や港湾、運河などの水底に堆積した土砂やヘドロなどを掘り上げる土木工事

原稿は質問者本人が書いています



三豊市SDGs推進
パートナーについて

問 この制度自体は、きちんと活用したら、企業や団体側も市としてもお互いにもっと利点を発揮できる制度でありSDGs推進にもつながる。これからどうしていくつもりなのか。

答 今後市の課題である空き家対策、高齢者の見守り、子育て支援や防災等の本市の様々な課題解決のために、一緒に取り組んでいただいたり、企業同士や企業と地域団体をマッチングしたりするようなものに発展していけるよう検討していきたい。

問 市民にわかりやすいようホームページも更新してほしい。パートナーの募集要綱も見直して募集し直しては。

答 ホームページは更新し要綱については検討する。

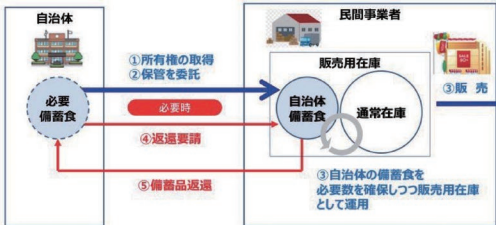
防災備蓄品について

問 防災対策中でも食料品の備蓄については必要不可欠だが、備蓄の場所や賞味期限の管理などさまざまな課題もある。新しい取

り組みとして北海道の5つの町村が広域連携で取り組んでいる「ランニングストック」という取り組みを導入しては。

答 防災備蓄品は県と連携し、食料や飲料水、日用品等の現物備蓄を着実に進め、計画数量を確保している。また、災害協定により流通備蓄の確保にも努めている。提案の「ランニングストック方式」は非常に合理的な手法だ。先進自治体の事例研究を進め、保存水や非常用食糧、衛生用品など、どの品目が適しているのか、どの民間事業者と事業を進めていくのかなど、その検証と内容の精査を進める。本市にとって最も効果的な備蓄体制の構築に向け、多角的に検討を進める。

その他の質問
○子育て世代に選ばれるまちづくりにについて



デジタル広報による
地域コミュニティの再生

問 高齢化等で自治会の紙媒体配布は限界だ。担い手不足と約5千〜6千世帯の未加入者への情報格差を解消するため、プッシュ型配信ができる市公式の共通デジタル閲覧システムを導入すべきだ。

答 ポスティングやデジタル等の選択肢があるが、本市は配布物が多く即時移行は難しい。当面は市ホームページのお知らせ専用ページを設けてデータ掲載を進めるが、今後の状況を踏まえ見直しを検討する。

問 ウェブ掲載のようなプル型では情報弱者が取り残される。市がリーダーシップをとって共通の仕組みを提供しなければ、地域ごとに異なるツールが定着し、将来の一元化や標準化が困難になり混乱を招く。

答 共通基盤は有効だが並行運用は不可欠だ。重要なのは「情



問 到達が重要だからこそ、自ら探しに行くウェブ掲載（プル型）への移行は避けるべきだ。情報到達度を第一に、段階的かつ皆が楽になる仕組みの採用・移行を計画的に進めてほしい。

※ランニングストック方式…民間の物流拠点を活用し、自治体の防災備蓄食料を通常の商品と同様に管理・運用する仕組み
※プッシュ型…発信者（市役所など）側から受動的な受信者（市民など）へ向けて、直接情報やサービスを届ける方式
※プル型…発信者からではなく、情報を要する者が自発的に問い合わせなどの行動を起こすように促す方式
※バックヤード…住民と直接的に接することが少ない、行政サービスを支える内部業務や事務処理全般のこと



集落支援員による
地域の防災活動支援

問 本市が抱える防災の大きい課題は、状況把握（避難支援に必要な名簿の不足）と情報発信（防災情報が市民に届ききらないこと）の2点である。これらを同時に解決するため、自治会の加入状況を問わない「全世帯の災害対策用名簿」の作成を提案する。

各家庭を戸別訪問して名簿を作る過程で住民との交流が生まれ、普段は情報が届きにくい世帯へも、避難所や備蓄などの重要情報を直接伝えることができる。

この取り組みを後押しし、地域の自主防災組織の結成率を向上させるため、本市で稼働している「集落支援員」を活用する仕組みが必要である。集落支援員が名簿作成の手続きや地域活動を手厚くサポートする「新たな支援制度」の創設を求める。

答 地域防災力向上のため、自治会の加入状況を問わない「全世帯の避難名簿」を作成し、その支援に集落支援員を充てる新制度の創設は、地域防災力の充実に図



▲集落支援員が各家庭を訪問しているイメージ画像

その他の質問
○「ラーケーション」で休暇の充実を
○最近職員の事務的ミスが多いのでは



デジタル化された罹災証明書
発行システム導入について

問 罹災証明書を迅速かつ的確に発行できるか否かが被災者の生活再建のスピードを左右する。今回導入のシステムの内容について、また大規模災害時のメリットや効果を伺う。

答 南海トラフ大地震時に短期間で被災家屋約1万3500棟の現地調査を行い、罹災証明書等を発行するため、デジタル化された被災者生活再建支援システムを本年4月から導入した。タブレット端末を用いて、調査現場から調査結果や位置情報、写真をクラウドに登録することができ、データはクラウドを介し管理用パソコンに集約され、調査進捗の管理やデータ分析を行うことができるものである。

メリットや効果については、住民基本台帳や家屋課税台帳等との連携機能で、被害調査結果と合わせて、容易かつ正確に情報の把握が可能であること。様々な地図情報を背景地図に重ね合わせ、有効な調査計画の作成が可能となり、調査業務の効率



▲今回の導入システムではタブレット端末で調査業務を行う。
出典：内閣府HP防災情報のページ「令和2年版防災白書」より

その他の質問
○HPVワクチン接種率向上について
○災害への備えについて

AIは質問者がAIで生成した画像です
原稿は質問者本人が書いています

※ラーケーション…「ラーニング(学び)」と「パークション(休暇)」を組み合わせた造語
児童生徒が保護者などとともに、平日に学校外での体験や探究的な活動を自ら計画・実行する。登校しなくても学校は欠席扱いにならない制度

総務常任
委員会

6月19日開催の総務常任委員
会には、2議案が付託され、
審査した。



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第1号)中の
関係部分

●栗島グリーンスローモビリティ
問 国の補助がなくなったとのこと
だが、今後どうするのか。
答 一般財源の充当になってしまっ
が、島民にとって必要なものとなっ
ているので、継続して進めたい。

●自動運転実証事業
問 令和10年度には、自動運転の有
償運行が可能となり、コミュニティ
バスは廃止するのか。
答 詫間の公共交通の利用率が高い
ことから、このルートを選んでい
る。コミュニティバスについては、
詫間線に関しては廃止しない。自
動運転の事業費はプラスとなるが、
国や県に働きかけ、持続できるよ
うにしていく。

問 「行きたいときに行きたいとこ
ろへ行けるま
ち」の実現に向
けた一つのイン
フラとして、実
現させる見通し
があるのか、そ
の決意は。
答 運転手不足
が加速的に進
む中、この事業



▲自動運転EVバス

を実施して、何とか、将来にわたっ
て市民の移動手段を確保するとい
う思いで行っている。市民の皆様
に十分説明をしながら進めたい。

●地域コミュニティ事業補助金
問 申請状況をみると地域のばらつ
きがある。今まで、まちづくり推
進隊が行ってきた事業がなくなっ
ている。集落支援員が地域に入っ
て、団体との意見交換などを地域
の中で調整していくのか。
答 集落支援員制度は導入したばか
りだが、今後は、補助金の周知、
申請の仕方など、地域のコミュニ
ティ活動が活発になるよう、地域の
活動を見に行ったり、状況を把握し
てサポートしていける体制づくり
を進めていく。

自動運転実証事業については、
委員会において附帯決議が付さ
れました。

附帯決議とは：
可決された案件に対し、事業を執
行する上での委員会からの要望の
決議のこと。
委員会としての意見が可否だけで
は十分に表明しつくせない場合が
あり、併せて附帯決議を可決して、
委員会の意思を表明しています。

以上、各議案とも慎重な審査に
より、原案どおり承認・可決した。

市民建設
常任委員会

6月22日開催の市民建設
常任委員会には、4議案
が付託され、審査した。



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第1号)中の
関係部分

問 犬・猫の不妊去勢手術費補助金
は今回の増額補正でどれくらいの
時期まで対応できるのか。
答 今回の補正で88頭分の予算が確
保できた。昨年度の実績で考えれ
ば秋ごろまでは対応できると考え
ている。

問 年度途中で予算が尽きる想定で
あれば年度当初から予算を十分確
保する計画にはできなかったのか。
答 基金等の限られた財源で実施し
ている。県の補助金も活用しなが
ら計画的に実施できるよう検討し
ていく。

問 ダイオキシンのモニタリング調
査のための委託料が計上されてい
るが、期間、回数は。財源は全額
一般財源か。
答 今回のモニタリング調査は3か
月に一回地下水の調査を2年程度
実施する予定である。全て一般財
源による対応である。

問 詫間町西野公園の遊具や豊中町

不動産の滝カントリーパークの建物
撤去費が計上されている。撤去
後、新設は。
答 遊具は破損、建物は老朽化によ
り撤去を行うもので、新設予定は
ない。



▲撤去予定の豊中町不動産の滝
カントリーパークの建物



以上、各議案とも慎重な審査によ
り、原案どおり承認・可決した。

議会
会 日 誌

4月		5月		6月		7月	
17日	総務常任委員会 会派会長会	1日	広報広聴常任委員会 会派会長会	1日	会派会長会 議案研究会	6日	広報広聴常任委員会 総務常任委員会
21日	議会運営委員会	11日	四国市議会議長会	15日	議会運営委員会 議会(一般質問)	10日	総務常任委員会
23日	教育民生常任委員会	14日	全国自治体病院経営都市議会協議会 会派会長会	16日	議会運営委員会 議会(一般質問)		
24日	市民建設常任委員会	19日	議会運営委員会	17日	本会議(一般質問)		
28日	公共施設再配置特別委員会	20日	議会報告会(山本、仁尾) 議会報告会(三野、豊中) 総務常任委員会	18日	本会議(一般質問)		
		21日	中部ボートレース事業組合議会	19日	政治倫理委員会 総務常任委員会		
		22日	議会報告会(詫間、財田) 公共施設再配置特別委員会	22日	市民建設常任委員会 政治倫理委員会		
		23日	議会報告会(高瀬) 会派会長会	23日	教育民生常任委員会 公共施設再配置特別委員会		
		25日	会派会長会	24日	政治倫理委員会 会派会長会		
		26日	教育民生常任委員会 全国市議会議長会	25日	政治倫理委員会 会派会長会		
		27日	全国市議会議長会	26日	議会運営委員会 全員協議会		
				30日	議会運営委員会 本会議		
					決算・事務事業評価特別委員会		

教育民生
常任委員会

6月23日開催の教育民生
常任委員会には、8議案
が付託され、審査した。



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第1号)中の
関係部分

問 骨粗しょう症検診における受診
率の見込みを30%とした理由は。
答 県内の実施自治体の受診率が
12%~23%であるため30%と見込
んでいる。

問 地域おこし協力隊の募集につ
いて。
答 学校と地域を繋ぐコーディネ
ーターとして地域探究学習を進める
とともに、英語教育を通し、国際
理解を推進する人材を募集する。

問 民間プールを活用する理由は。
答 詫間中学校において、猛暑によ
りプールへの注水や、プールサイ
ドへの散水等で水道代が増加。授
業を午前中に変更するなどの影響
もあり、民間のプールを試行的に
活用する。

問 三野町体育センターの天井改修
工事を中止し、来年度に補助金の
獲得を含め取り組むが、その間の
安全が確保できるのか。
答 塗装剥落下の恐れがある数か所
については6月25日に応急修繕を

完了し、安心して利用可能である。

財産の取得について
問 学習者用コンピューター(151
1台の購入について。
答 令和2年度、GIGAスクール
構想で端末が小中学校に導入され
た。約5年が経過し、国の補助金
の交付条件である県の共同調達に
より、県協議会を設置し、今回中
学校生徒学習用のクロームブック
を更新する。補助金は県の基金か
ら交付され、令和9年度から中学
校へ導入の予定である。使用済み
端末については適正に再使用・売
却または再資源化の処分を検討し
ている。



▲更新される学習者用
コンピューター

以上、各議案とも慎重な審査に
より、原案どおり可決した。

決議案が可決されました

委員会から提出された審査結果報告書を受け、令和8年6月30日、令和8年第2回三豊市議会定例会の最終日に、以下3件の決議案が提出され、可決されました。

高木修議員に対する問責決議①

詳細はこちら



【概要】議員の一連の行為は、市民による要望書提出を委縮させ、市民の正当な権利を阻害する行為にあたり、市民全体の代表者としての立場に照らしても看過できない。よって、三豊市議会は、高木議員に対し、議員の責務を深く認識し、高い倫理観と猛省を求め、問責の意を表明するとともに、必要な措置を勧告する。

高木修議員に対する問責決議②

詳細はこちら



【概要】議員の関与した文書に係る一連の行為は、応礼しようとする者の入札の権利を妨害し、かつ市の公正な入札執行をも妨害するものであり、議員活動の範疇を超えた行為であるといえる。よって、三豊市議会は、高木議員に対し、議員の責務を深く認識し、高い倫理観と猛省を求め、問責の意を表明するとともに、必要な措置を勧告する。

三豊市議会政治倫理基準の遵守に関する決議

三豊市議会政治倫理基準の遵守に関する決議

三豊市議会は、市民の厳粛な信託を受けた代表として、その責務の重大性を深く認識し、常に高い倫理観と良識を持って行動することが求められている。とりわけ「三豊市議会議員政治倫理条例（以下「条例」という。）」は、議員が市民の疑惑を招くような行為を排し、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的として議会自らが定めた、市民に対する厳粛な誓約である。

条例に規定する政治倫理基準への違反が認められたことは、議員個人の資質や責任にとどまらず、三豊市議会全体に対する市民の信頼を著しく失墜させるものであり、誠に遺憾と言わざるを得ない。我々市議会議員は、市民の代表者としての誇りと自覚を持ち、いかなる時も疑惑を持たれることのないよう、自らを厳しく律しなければならない。

よって、三豊市議会は、本決議をもって政治倫理基準違反が発生することのないよう、適切に対処していくものとし、議会全体として市民の信頼を早期に回復するよう政治倫理の向上に努め、清廉かつ公正な議会運営に邁進することをここに決意する。

以上、決議する。

令和8年6月30日

全会一致

三豊市議会

三豊市議会議員政治倫理委員会 審査報告



※詳細は市議会のホームページにてご覧いただけます。

政治倫理委員会とは…

本市議員の行為等が、三豊市議会議員政治倫理条例に示す政治倫理基準に違反する疑いがあると認められた場合に、議員が連署で審査請求書を議長へ提出し、それを受けた議長は、すみやかに政治倫理委員会を設置します。

政治倫理委員会は審査請求内容を審査します。違反を認めた場合は、政治倫理基準違反の認定及び措置を決定し、報告書を議長へ提出します。

審査請求の対象者

高木 修 議員

審査請求の疑義

- ① 要望書の提出者に対して第三者を介して事実確認を迫った事案がある。
- ② 市の入札に応礼しようとする者の意思決定に対して不当な影響を与えた事案がある。

委員会の審査経過

- 第1回委員会 6月18日（木）
委員長・副委員長を選出し、今後の予定を協議。
- 第2回委員会 6月22日（月）
審査対象議員に弁明の機会を与える。議長から聞き取り内容の報告を受け、対応を協議。
- 第3回委員会 6月25日（木）
審査結果報告書（案）の内容について確認し、議長に報告することについて承認。

審査の結果

審査請求のあった2件の事案について、いずれも三豊市議会議員政治倫理条例で定める政治倫理基準違反に該当すると結論に至り、いずれの事案も問責すべき、との結論に達した。

新議場システム

令和8年2月に議場のシステムを更新し、第1回（3月）定例会から運用を開始しています。さらに見やすく分かりやすい議会を目指して参ります。

- ① 議場のモニターやインターネット配信の映像が高画質になりました。
- ② 傍聴者席側のモニターでは、生中継の映像が見られます。
- ③ 採決の様子や結果が、一目で分かるようになりました。
- ④ 発言者の名前をテロップで表示できるようになりました。



議案第●号 令和●年度 一般会計補正予算	議案第●号 令和●年度 一般会計補正予算
採決結果	集計結果表示
賛成 17名 反対 2名	総数 19名 賛成 17名 反対 2名



視察受入

【夜間中学について】

5月11日 山梨県甲府市議会 会派(政友クラブ)

【部活動地域移行について】

7月 9日 滋賀県高島市議会 会派(真志会)

【バイオマス資源化センターみとよについて】

5月13日 埼玉県三郷市議会 会派(創政MISATO)

7月 7日 静岡県富士宮市議会 会派(つなぐ)

【観光について】

4月28日 岡山県議会 議員1名

4月28日 岡山県玉野市議会 議員1名

7月 6日 島根県安来市議会 総務企画委員会

【みとよ市民病院について】

7月 2日 石川県能美市議会 教育福祉常任委員会